



ロータリー:
変化をもたらす

Weekly

尾張旭ロータリークラブ



・会長 西尾 輝久 ・幹事 菊田 利昭 ・クラブ会報 加藤 清久
・例会日 毎週金曜日 12:30 ・例会場 〒488-0801 尾張旭市東大道町原田 2570-3
・事務局 尾張旭市商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945
E-mail : jimmu@owariasahi-rc.org URL : <http://www.owariasahi-rc.org>

2017-18年度 地区方針 「今日からのロータリーを楽しもう！」

本日 第2278回 2018年2月16日(金) No. 2163

本日のプログラム Today's Program

卓話担当者 : プログラム委員会

卓話者 : 特定非営利活動法人 DRR
ネットワーク つなぐ
理事 菅井 径世様

点 鐘

ソング 「 荒城の月 」

演 題 : 「尾張旭から全国、世界へ発信！
これからの地震減災対策 “被災
から学び、つなごう”」

前回 第2277回 2018年2月9日(金) 記 録

○斉唱 : 「スキー」

○ゲスト : 一般社団法人尾張旭青年会議所

2018年度 理事長 小島 弘文様
専務理事 秋田 一誠様

○来訪者 : 2017-18年度ガバナー補佐 鈴木 文勝君

○出席者 : 会員 20名中 14名出席 出席率 70.00%
前々回補正出席率 1月27日 95.00%

会長あいさつ 西尾 輝久



三寒四温とは春が近い頃の
気象現象を指します。三日
ほど寒い日が続いた後に四
日ほど暖かい日が続く、こ
の七日の周期で天候が変化
し、春に近づいていくとい
う春先の気象の状態を指す
言葉です。日本では春先に低気圧と高気圧が交互に
やってきて、低気圧によって寒気が流れ込んできた
後に高気圧によって暖かくなり、周期的な寒暖の変
化を繰り返すということが多くなります。そのため
日本では寒暖の変化がはっきりしている春先に「三
寒四温」という言葉を用いる人が多くなったと考え

られます。しかし辞典による正しい使い方は以下の
様であります。三寒四温は先述の通り、近年は春の
訪れの際に使われていますが、実はこの言葉は冬の
気候（秋の終わりから春先まで）を指し示す言葉で
す。本来は中国北東部、朝鮮半島北部の冬の気候を
表す言葉だったそうです。冬にシベリア高気圧によ
って吹き出された寒気が七日前後の周期で強まっ
たり、弱まったりする様を指していたようです。確
かにあのぐらいの寒い地域だと寒気の強弱はもっ
と顕著に感じられそうです。中国北東部ほどシベリ
ア高気圧の影響が大きくなり、日本では実際にはこ
ういった三寒四温の周期はほとんど見られません。
年に一度あるかないかくらいと言われているので
すから、実際に使うとしたら 1~2 月が最も相応し
いと考えられます。又、同じ言葉で人生の考え方を
中日新聞の小出前社長が言われた言葉を思い出し
ましたので述べておきます。春 3 月は別れと出会い
の季節である。転勤で去って行く友を見送るとやが
て新しい仲間がやってくる。卒業式で旧友との別れ
に涙した子供たちは入学式で新しい友との出逢い
に胸を躍らせる。「三寒四温」の天気の様子に別れの悲
しみと出逢いのうれしさを繰り返すうちに、人生は

平和と紛争予防／紛争解決月間

	2月23日(金)	3月2日(金)	3月9日(金)	3月16日(金)
例	卓話担当者:国際奉仕 委員会	卓話担当者:OFDY 委員会	卓話担当者:谷口 伸夫君	卓話担当者:青少年奉仕 委員会
会	卓話者:箕輪良孝国際 奉仕委員長	卓話者:瀬戸信用金庫 理事 資金証券部長 神戸 雅弘様	卓話者:石井 弘子地区 会員増強委員	卓話者:小規模保育所各 園長
予	演題:「留学生交流に ついて」	演題:「OFDY 運用に ついて」	演題:「会員増強に ついて」	演題:「小規模保育所に ついて」
定				

それでも「寒」より「温」が1つだけ多いよなと実感する季節といえようか。「三寒の別れ、四温の出逢いかな」三つの寒さがあっても1つぐらいい余分の温かさがあるのだと構えていればよいのだという。誠に胸を打つ言葉だと思います。我々尾張旭ロータリークラブでも三寒の別れがあっても四温の出逢いがあれば悩まずに継続出来るのではないかと思います。

幹事報告

本日の会合：ガバナー補佐懇談会 於尾張旭市商工会館内 第一会議室 13：40～

ニコボックス

○本日は二回目のガバナー補佐訪問として伺いました。今後とも宜しくお願い申し上げます。

2017-18年度ガバナー補佐 鈴木 文勝君

○一般社団法人尾張旭青年会議所小島理事長、秋田専務理事、鈴木ガバナー補佐様、お寒い中ようこそいらっしゃいました。 西尾 輝久君

○一般社団法人尾張旭青年会議所理事長小島弘丈様、専務理事秋田一誠様、ようこそ。

加藤 清久君、古橋 裕志君、金森 俊輔君

○鈴木文勝ガバナー補佐 ようこそ。

飯田 幸雄君、加藤 清久君、舟橋 龍秀君

古橋 裕志君、森井 晴生君

○今日の卓話頑張ります。 岡本 和士君

○岡本先生の卓話、ご苦労様です。楽しみにしています。 飯田 幸雄君、岡田 好雅君

○本日、早退させていただきます。

金森 俊輔君、森井 晴生君

一般社団法人尾張旭青年会議所表敬訪問



一般社団法人尾張旭青年会議所

2018年度 理事長 小島 弘丈様 (左)

専務理事 秋田 一誠様 (右)

ガバナー補佐訪問



2017-18年度
ガバナー補佐 鈴木 文勝君
(小牧ロータリークラブ)

卓話



「私のプロフィール
と大野先生」
岡本 和士

私と大野先生の最初の
出会いは、昭和54年
三好町（現在 三好市）

で全国初であった地域に居住する高齢者の集団検診でありました。私は、その当時愛知医科大学の学生の4年で、バイト代が高給に誘われて参加した時でした。最初に心電図をとることになったとき、突然誰か知らない大柄の怖い人が現れ、「アースもとっていない。君は何をやっているんだ」と怒られた時が、大野先生との最初の出会いです。

卒業後、公衆衛生学の教室の入局し、初めて研究会に参加した時に、どこかで見たことのある人がいると思っていたら、「君だね。心電図の取り方を知らなかったのは」と声をかけられ、そこで、あの時の人が大野先生ということとつながりました。

大野先生と深くかかわらせていただくこととなったきっかけは、前任の教授が退官して、新しい教授が着任してからでした。理由はわからないのですが、なぜがいままでいうパワハラをうけることとなりました。その時、大野先生とはアルバイト先の外来日が同じということもあり、いろいろな相談をさせていただいていました。その時も親身になって聞いていただき、「なんと心の広い先生」と思い人間的に尊敬できる存在となりました。先生の言葉の中で私の救いとなったのは「俺もあいつが嫌いだ」「困ったらいつでも相談に来い」でありました。とても偉い先生なのに関わらず遠慮なく先生のもとを訪れても、話を聞いていただいたことが、その当時とても救いになりました。この時、もし話を聞いていただければ、今でいう本物の「うつ」になっていたかもしれません。これらの事から、「愛知県立看護大学（現在の愛知県立大学看護学部）に移る意思を聞かれ、即座に翌日「移ります」と回答しました。いわゆる、メンタルの際の「配置転換」です。

現在の大学に移ったのち、一人きりになった私に「君、みなしごハッチになったね。よければ名大の予防の勉強会に来るかね」と声をかけていただいたことは、今でも大野先生には感謝しても感謝しきれないほどありがたく思っております。

先生が退官されてからも、相談事があればご自宅に赴いていました。また、他の大学に挑戦するときもアドバイスを頂いたり、紹介状まで作成していただきました。

しかし、ご相談しようとご自宅に連絡をした際に、奥様から入院した時間かされまして、早速お見舞いに行きました。その時はお元気そうで、そのうち退院してまた頑張るよとおっしゃっていたので、安心をしておりました。その後、なかなかお見舞いに行かれず心配になっておりましたところ、突然の訃報をいただき、私は信じられませんでした。というのも大野先生は不死身と思っていたからです。私には、何かあっても相談できる恩師がいなくなってしまったという虚無感でいっぱいになりました。これは大野先生からの「もう一人立ちしなさい」というメッセージとっております。今、大野先生の縁でロータリークラブに入会させていただき、ここで今日お話しさせていただけるのも、偶然ではなく、必然なことでこれからがんばれという大野先生のお導きと思い、大野先生にお叱りを受けないよう頑張らせていただきたいと思います。